

サキホコレ学園

Gチームが行く！



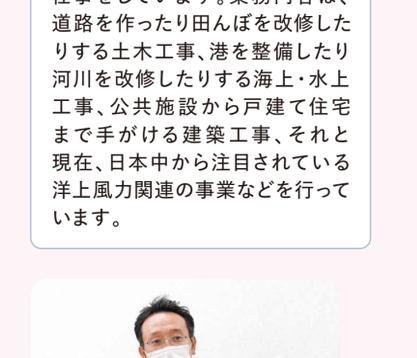
仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いちゃいました！



株式会社清水組

今回サキホコレ学園Gチームがインタビューするのは、男鹿市船越の総合建設業者・清水組で働くみなさん。土木部の石垣さん、採用広報主任の寺山さん、そして代表取締役社長の清水さんが会社で取材に応じてくれました。どんな話が聞けるか楽しみです！

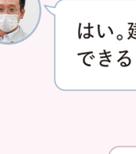
今回のパイセン



石垣さん & 寺山さん

Gチーム

本日はよろしくお願いします。

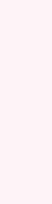


清水さん・石垣さん・寺山さん

よろしくお願いします。

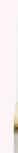
Gチーム

初めに、清水組の会社の概要を簡単に教えてください。



清水さん

社名から想像できたと思いますが、うちは建設業に特化した会社です。創業は1905年(明治38年)。もう100年以上、この地でこの仕事をしています。業務内容は、道路を作ったり田んぼを改修したりする土木工事、港を整備したり河川を改修したりする海上・水上工事、公共施設から戸建て住宅まで手がける建築工事、それと現在、日本中から注目されている洋上風力関連の事業などを行っています。



Gチーム

すごい、何でも作れるんですね。



清水さん

はい。建物であれば、大体のことはできると思います。



Gチーム

石垣さんは、どうしてここで働くと思ったのですか？



石垣さん

会社説明会での社長の熱いトークに触発されて(笑)。実はそれまで建設関係の知識はゼロだったのですが、自分も建設を通じて地域の営みを守り、人々の暮らしを作っていきたいと強く思ったんです。



Gチーム

そうだったんですね。県外で就職することは考えなかったですか？



石垣さん

同級生はほとんど地元を出て行きましたが、私は自分を育ててくれた土地と家族に恩返ししがたかったので。最初から地元での就職を希望していました。



Gチーム

すごいです！今はどんな業務を担当していますか？



清水さん

彼女はすごいですよ！20代で既に総工費1億とかの仕事も担当しているんだから。



Gチーム

ひゃー



石垣さん

社長、そういう前説いらないです(笑)無駄にハードル上げないでください！



清水さん

まあ実際は、この業界で億超えの仕事はそんなに珍しいことではないのですが、それくらいの大金を20代の女子が動かしていると考えたら、単純にすごいなあって思いません？みなさんどう？



Gチーム

すごいと思います！



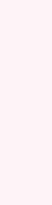
石垣さん

とは言い、計算や調整が大変になるだけで、数百万の案件も億超えの案件も基本的にはやることは一緒なんです。私の仕事は、どんな材料と機械を用いて、どんな技能者を集めれば効率的に工事が進められるかを考えること。シンプルに言うと、予算や工期、会社の利益までを見据えた計画書の作成ですね。文字通りゼロから始まるものづくりに日々関わることができると、やりがいがありますよ。



Gチーム

現場には行かないんですか？



石垣さん

行きます。技能者とのミーティングや、工事の過程をカメラに記録するのも私の仕事なので。



Gチーム

いろんな業務があるんですね。平日の1日の流れはどのような感じですか？



石垣さん

今の現場は自宅からすぐ近くなので8時に出社し、仕事をして17時に退社、17時10分に帰宅。なので平日でもプライベートの時間は十分すぎるほどあります。ネット動画を見ながらアウトウト、20時とかに寝てしまうこともあるんですけど。



清水さん

子どもか！寝るのが早すぎでしょ。



石垣さん

そんなときもあるって話です！



Gチーム

平日の17時10分に家に帰るのは、都会で働いていたらほぼ不可能ですね。



清水さん

私の場合、子どもと遊んだり一緒に風呂に入ったりして、家族全員で晩ご飯。それが済んでも、まだ時間がたっぷりある。



寺山さん

平日だけでなく週末もしっかり自分の時間が取れるので、キャンプでもスポーツでも小旅行でも、やりたいときにやりたいことができるのがいいねと、うちの社員はみんな言っていますよ。



石垣さん

秋田は渋滞や人混みに巻き込まれることが少ないのもいいですね。私の同級生たちは、それが当たり前前の都会に行ってしまうんですけど……。



寺山さん

多くの若者の目には、それでも都会がキラキラ輝いて映るんじゃないかな。



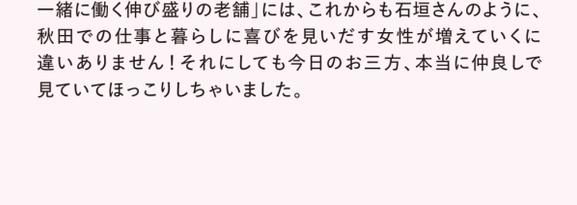
Gチーム

今の私たちには、秋田の方がキラキラ輝いて見えます！ところで清水組は、昔から石垣さんのような若い女性の採用に積極的だったのですか？



寺山さん

いいえ、5、6年前からです。気づいたら職場にベテランしかいない状況になっていて、会社の存続、技術継承などいろいろなことを考え、男女を問わず若者の採用に力を入れていくことにしました。



男社会のイメージが強い建設業界にも、女性が輝ける場所があります。清水社長いわく「10代から70代までの老若男女と一緒に働く伸び盛りの老舗」には、これからも石垣さんのように、秋田での仕事と暮らしに喜びを見いだす女性が増えていくに違いありません！それにしても今日のお三方、本当に仲良く見ていてほっこりしちゃいました。